

事務事業名		堆肥センター管理運営委託事業			会計	一般会計					
課等名		農業課			事業種別	政策		開始		終了	
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理							
目的	対象(誰・何を)	中心市街地収集エリア内の家庭生ごみ 堆肥センター処理量(家庭生ごみ含む)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	良質な堆肥を生産する				収集エリア内の家庭生ごみ搬入量(t)	179				
	向上させたい上位施策の成果指標	再資源化率(家庭系一般廃棄物)%				処理量(家庭生ごみ含む)(t)	5171.2				
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	堆肥生産量(t)			2000	2050	2000	2000			
	定性目標										
	事業概要	センターは平成16年6月に本格稼働し、市内で発生するきのこの廃培地(6t/日)を水分調整材に、市街地の家庭生ごみ等(3t/日地)を発酵促進材に、畜産農家の畜ふん(10t/日)を主原料に、リサイクル発酵堆肥を生産し、市内中心にバラ・袋づめの2形態で販売している。本施設は、JA、事業参画農家(6戸)、飯田市の出資により設立した「有限会社いいだ有機」に管理運営を委託しており、独立採算での事業運営がなされている。本会社の主たる収入は、堆肥原料(畜ふん、生ごみ、きのこ廃培地、事業系生ごみ)の処理経費相当分及び堆肥販売収入であり、市では、中心市街地の家庭生ごみ及び公共施設(丸山共同調理場、東・西中、浜井場・追手町・丸山小・市役所)生ごみの処理経費相当額を委託料として支出している。また、当該施設用地、8,827㎡分は借地として市が借地料を負担している(地権者2名 契約期間20年)。機械設備の定期検査(車検)、環境影響調査は施設所有者である市が行っている。									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 管理運営委託				1 施設稼働日数			1 365日			
	2 環境影響調査 定期臭気・水質検査委託				2 定期環境調査回数			2 1回			
	3 用地借地料(年間分)				3 用地借地面積			3 8,827㎡			
	4 大規模施設修繕				4 舗装工事他			4 272㎡			
	5 市有物件保険料										
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		1,694	5,761	5,660	1,769						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		1,694	5,761	5,660	1,769						
人件費計(千円)②		830		830							
正規職員所要時間		232		232							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		2,524	5,761	6,490	1,769						
事業内容・目標達成状況の振り返り	家庭生ごみ、畜ふん、培地から良質で安定した堆肥生産ができた。また、今年度、舗装補修工事を行ったことで作業効率が上がり、堆肥生産量の増加につながった。										
改革改善の考え方	①問題点	・安定的な堆肥生産を維持し、季節に影響がない良質な堆肥生産が必要である。 ・堆肥の利用先拡大と生産された農産物に地域内循環の構築が課題である。									
	②改革提案	・安定した堆肥生産量を維持し、季節に影響がない良質な堆肥生産の取り組みを実施する ・地域内循環の構築を行い、生産した堆肥を利用した作物のPRを実施する									